


【件名】	石神井川整備工事（北その11）	【事務所名】	北多摩南部建設事務所	
【工事場所】	東京都西東京市柳沢一丁目地内 石神井川	【受注者名】	巴山建設株式会社	
【工期】	令和3年10月26日から令和4年12月9日まで	【主たる技術者名】	監理技術者 大森 健司	

【工事概要】

本工事は、「石神井川河川整備計画」に基づき、1時間あたり50mm規模の降雨に対応できる河道の整備を目的とし、石神井川護岸（工事延長約80m）においてブロックマット設置工・管渠工等を施工したものである。

【表彰理由】（※発注者側評価）

「受注者希望型ICTの活用」、「人検知衝突軽減型搭載型重機の使用」、「ウェアの24時間現場監視」など新しい技術に積極的に取り組み安全かつ良好な出来栄であった。さらに、工業高校の学生に対して現場体験実習を実施し、建設業の担い手確保・育成に積極的に取り組んだ。こうした様々な表彰に値する取り組みがなされたため。



施工前



施工後

【受注者の声】

- ◇ 苦労した点
不発弾が埋まっている可能性があるということで、普段の施工に比べて非常に細心の注意が必要だった。また、河床施工が出水期と被ってしまい、冠水被害などで苦労した。
- ◇ 特に工夫した点
ICT施工技術を導入した施工に力を注ぎ、すべての段階での導入を実現した。また、設計とは別に不発弾探査用に3次元データを作成し安全な掘削を実現した。
- ◇ 現場で得られたやりがいや達成感
設計図書通りに構造物が出来上がる様子にもやりがいを感じたが、問題が発生するたびに計画や協議のやり直しを行って、その問題を打破した時に一番のやりがいを感じた。
- ◇ 建設業の将来を担う若手技術者や学生に対し伝えたいこと
様々な業者、関係機関、近隣住民の方々の協力を得て、構造物が出来上がった瞬間・工事が完了した瞬間は他では得られない達成感だと思う。ぜひ味わってほしい。



不発弾に対する金属探査状況